

# 2月から連載「新歯科進化論」

## MBA取得の赤司征大氏と考える

### 未来に向け社会的価値をどう高めるか

日本の歯科医療には閉塞感が出ている。その原因はいくつもある。求められるものが変わってきた。これにどう対応するかが、歯科医療であり、中小企業経営者である赤司征大氏も、経営者としての視点から日本の歯科医療の今後を展望している。赤司氏は「歯科医療の社会的価値を高めるために、経営者としての視点から、日本の歯科医療の未来について考える必要がある。経営者としての視点から、日本の歯科医療の未来について考える必要がある。経営者としての視点から、日本の歯科医療の未来について考える必要がある。」



（赤司 まさひろ） 東北大歯学部卒、医療法人勤務を経て、UCLA経営大学院、2015年MBA取得、WHITE CROSS社 代表

### 閉塞感を打ち破るために渡米

「経営者としての視点から、日本の歯科医療の未来について考える必要がある。経営者としての視点から、日本の歯科医療の未来について考える必要がある。経営者としての視点から、日本の歯科医療の未来について考える必要がある。」

「経営者としての視点から、日本の歯科医療の未来について考える必要がある。経営者としての視点から、日本の歯科医療の未来について考える必要がある。経営者としての視点から、日本の歯科医療の未来について考える必要がある。」

### インフォメーションミックスの可能性

「経営者としての視点から、日本の歯科医療の未来について考える必要がある。経営者としての視点から、日本の歯科医療の未来について考える必要がある。経営者としての視点から、日本の歯科医療の未来について考える必要がある。」

### 治療から、予防と治療の両輪へ

「経営者としての視点から、日本の歯科医療の未来について考える必要がある。経営者としての視点から、日本の歯科医療の未来について考える必要がある。経営者としての視点から、日本の歯科医療の未来について考える必要がある。」

「経営者としての視点から、日本の歯科医療の未来について考える必要がある。経営者としての視点から、日本の歯科医療の未来について考える必要がある。経営者としての視点から、日本の歯科医療の未来について考える必要がある。」

「経営者としての視点から、日本の歯科医療の未来について考える必要がある。経営者としての視点から、日本の歯科医療の未来について考える必要がある。経営者としての視点から、日本の歯科医療の未来について考える必要がある。」

「経営者としての視点から、日本の歯科医療の未来について考える必要がある。経営者としての視点から、日本の歯科医療の未来について考える必要がある。経営者としての視点から、日本の歯科医療の未来について考える必要がある。」